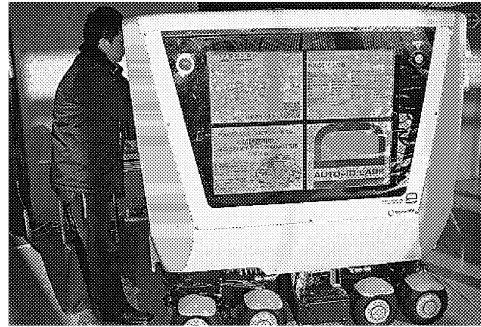


WiMAX

Wi-Fi

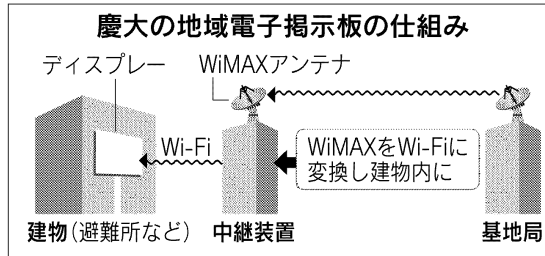
地域電子掲示板に活用

慶応義塾大学は、地域限定で免許が交付される次世代高速無線技術の「地域WiMAX」と無線LANの一種「Wi-Fi」を併用した地域電子掲示板を開発した。街中の建物や災害時の避難所に設置し、地元の店舗情報や災害情報を表示する。アンテナは据え付けられるところが幅広く、掲示板を様々な場所に置ける。地域情報共有の新たなビジネスモデルとして実用化を目指す。



Wi-Fiの電波を受信して電子ペーパーに表示する慶大の地域電子掲示板

慶大が開発 アンテナ設置 場所を選ばず



三次仁准教授らが開発した地域電子掲示板は、まず基地局から情報を電波で送り、屋外に設けたWiMAXアンテナが受信する。建物内にはWiMAXの電波が入りにくいため、ここでWi-Fiを利用して建物内に情報を送って各種ディスプレイに表示する。電波を使うと情報が途切れやすく、映像がゆらぐ問題が生じやすい。そこで、受信した情報の信ぴょう性を瞬時に検証しながら、信頼性の高い情報だけを集めて表示する仕組みを導入した。アンテナの設置可能な場所を拡大することで、地域掲

示けるようにした。今月実施した実証実験では、体育館の外にWiMAXアンテナを設置し、そこでWi-Fiに変換して建物内の電子ペーパーに情報を表示できた。地域掲示板にどのような情報をどのタイミングで送るか、運営方法の研究を進める。

地域WiMAXは、情報通信網と家庭を結ぶ端末のところで地理状況や設置費用の問題でつながらない「ラストワンマイル問題」を克服することを目的に、地域限定で免許が交付されている。慶大のように、地域で情報を共有するシステム開発を目指し地域WiMAXを利用した技術研究は珍

報通信網と家庭を結ぶ端末のところで地理状況や設置費用の問題でつながらない「ラストワンマイル問題」を克服することを目的に、地域限定で免許が交付されている。慶大のように、地域で情報を共有するシステム開発を目指し地域WiMAXを利用した技術研究は珍

使った新しいビジネスモデルとして実用化を急ぐ。